

目次

自序

第一部 理論編

第一章 地域史としての東アジア交流史——問題意識と研究テーマ…………… 3

はじめに 3

一 方法論的思考 6

二 問題意識 20

三 研究テーマ 26

おわりに 31

第二章 東アジア文化交流史における「脱脈絡化」と「再脈絡化」…………… 43

——その現象と研究方法論上の問題

はじめに 43

一	東アジア文化交流史における「東アジア」と「中国」	44
二	東アジア文化交流史における「脱脈絡化」現象及びその研究方法	46
三	東アジア文化交流史における「再脈絡化」現象及びその研究方法	52
	おわりに	60

第二部 中日交流編

第三章 一八世紀東アジア儒学者の思想世界

はじめに 69

一	一八世紀東アジア儒学の同調性(一)	70
	——反朱子学と反形而上学によって	
二	一八世紀東アジア儒学の同調性(二)	77
	——「存在」の中に「本質」を探る	
三	一八世紀東アジア儒学の異なる傾向	80
	——中・日・韓儒学者の主体意識の比較	
	おわりに	88

第四章	中日文化交流史に見られる「自我」と「他者」 ——相互作用の四種の類型とその含意	97
	はじめに	97
	一 類型(一)——「政治的自我」と「文化的自我」の張力	98
	二 類型(二)——「文化的自我」と「文化的他者」の張力	103
	三 類型(三)——「政治的自我」と「政治的他者」の張力	106
	四 類型(四)——「文化的他者」と「政治的他者」の張力	109
	おわりに	111
第五章	中国儒家知識人の日本観——朱舜水と徐復觀とを比較して	117
	はじめに	117
	一 朱舜水と徐復觀——二人の共通点並びに差異	118
	二 日本人の心理と日本文化の特質	121
	おわりに	129
第六章	中国儒家經典に見られる「中国」概念の意義と変容 ——近世日本及び現代台湾において	135
	はじめに	135

- 一 「自己イメージ」としての「中国」 136
 - 「文化的中国」と「政治的中国」の合一
 - 二 近世日本の世界観における「中国」概念の再構築 138
 - 三 現代台湾の世界観に見られる「中国」 143
 - 「政治的アイデンティティ」と
 - 「文化的アイデンティティ」の合一と分離
- おわりに 146

第三部 台日交流編

- 第七章 一九世紀末期の日本人の台湾論 …………… 153
 - 上野專一、福沢諭吉と内藤湖南を中心に
- はじめに 153
 - 一 三人の日本人とその台湾観の概要 154
 - 二 三者の台湾観に見られる思想傾向——帝國主義思想 161
 - 三 「西洋文明を目的とする事」——近代日本の知識人の盲点 178
- おわりに 182

第八章 二つの視野

——戦後初期中国人の「光復返還経験」と日本政府の「終戦経験」

189

はじめに 189

一 中国人の目にした光復返還当初の台湾 191

二 中国人の「台湾光復返還経験」と日本政府側の「終戦経験」 200

——二つの視野を比較して

三 台湾人と中国人の「光復返還経験」 206

——「アイデンティティ」の文化的基礎と権力的要素

おわりに 209

訳者あとがき 215

初出一覧 219